

■展示写真紹介



木造 しょうかんのんぼさつりゅうぞう 聖観音菩薩立像

平安時代 勝山市平泉寺町 辻観音堂

かつて平泉寺三十六堂の1つであった観音堂に安置され、現在はその後身である辻観音堂に安置されています。

髻を結び、右手を胸前で広げ、左手で未敷蓮華を執る姿は延暦寺横川中堂本尊聖観音菩薩像と同様です。穏やかな彫り口は平安後期の制作と考えられますが、見開いた目や太い鼻梁の鼻など、古い要素を見せる点が特徴です。平泉寺ゆかりの数少ない仏像としても貴重です。

有形文化財 彫刻 平成29年3月31日指定



刀 銘 ながそねおきさとにゆうどうこてつ 長曾祢興里入道 庵徹

江戸時代

江戸時代に最も知られた名工長曾祢庵徹作品です。庵徹は越前で甲冑師として活動しましたが、後に刀鍛冶となり50才の頃、江戸に出て活躍しました。

長さ70.6cm。銘の字体等から庵徹の円熟期の作品と見られます。裏銘から50才(半百)で本国越前から江戸に移ったことがわかります。

有形文化財 工芸品 平成7年4月21日指定